

# 「地域共生社会の実現をめざして」

## ～2040年泉南市の挑戦～

令和4年1月28日

泉南市 福祉保険部 生活福祉課

高尾 年弥



泉南市マスコットキャラクター「泉南熊寺郎」“せんくま”  
せんなんくまじろう

# 泉南市の紹介



【関西空港】



【せんなんロングパーク】



【市指定 梅の花】



【さといも】



【水なす】

○特産品：水なす・さといも等

# 泉南市

○総人口：60,452人

○高齢者人口：17,715人

○高齢化率：29.3%

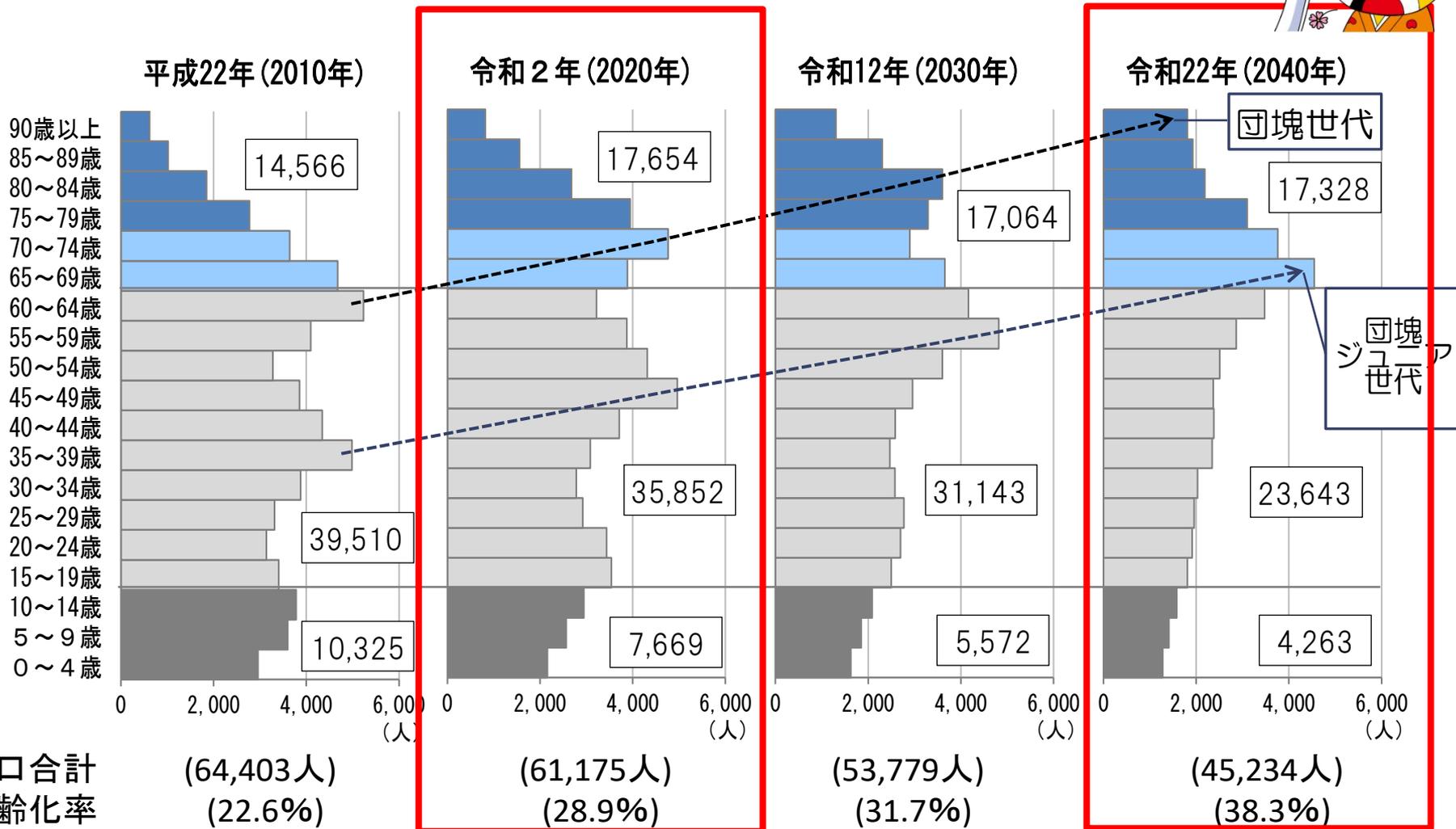
○面積：48.98km<sup>2</sup>

○認定者数	3,629人
第1号被保険者	3,544人
第2号被保険者	85人

※令和3年9月末日現在

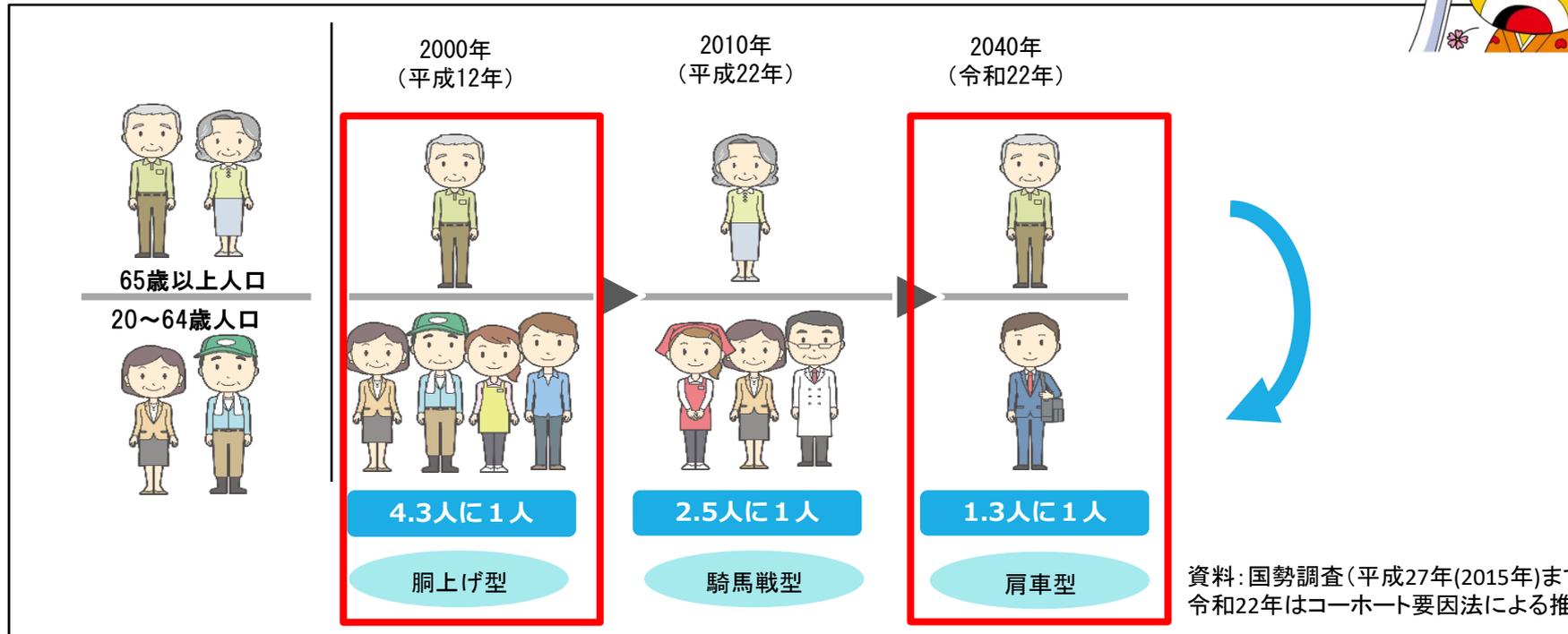


# 人口構成の推移



資料：平成22年(2010年)は国勢調査、令和2年は住民基本台帳人口、令和12年以降はコーホート変化率法による推計人口(各年10月1日現在)

# 泉南市における現役世代(生産年齢人口)の推移



	1980年	2000年	2015年	2025年	2035年	2040年
20~64歳	31,021	40,069	32,810	29,976	25,153	21,929
65歳以上	3,923	9,268	17,028	17,726	17,746	18,384
人数比	7.91	<b>4.32</b>	1.93	<b>1.69</b>	<b>1.42</b>	<b>1.19</b>

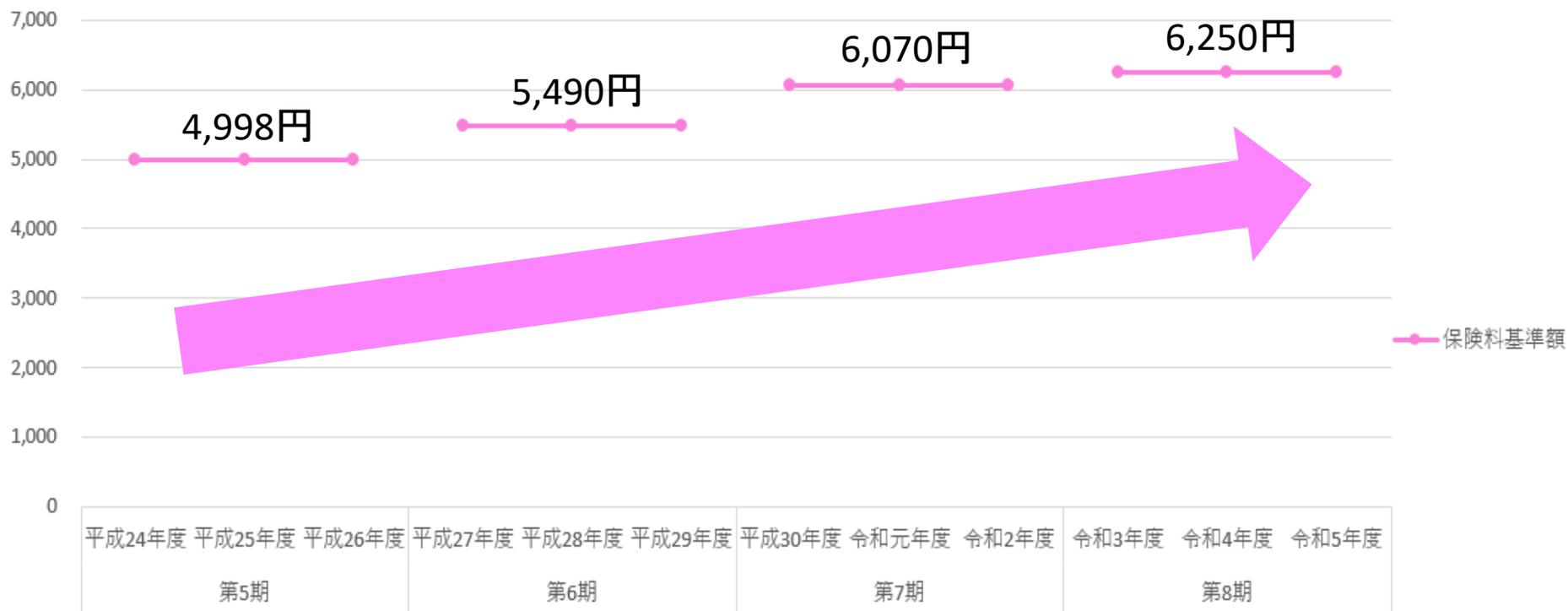
20~74歳	33,647	45,754	42,289	36,657	32,479	30,158
75歳以上	1,297	3,583	7,549	11,045	10,420	10,155
人数比	25.94	12.77	5.60	<b>3.32</b>	<b>3.12</b>	<b>2.97</b>

資料: 平成12年は国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月推計)」

# 泉南市の介護保険料額の推移



## 泉南市の介護保険料額の推移



資料: 第5期~第8期地域包括ケア計画(高齢者福祉計画・介護保険事業計画)

少子高齢化というが . . . .  
国は、大阪府は、市役所は . . . .  
何を、してくれるの . . . ?  
行政は？地域は？住民は？  
一体、何をすれば . . . ?  
いいの . . . ?

# 皆様にお伝えしたいこと

1. 泉南市が目指す方向性の明確化
  - ① 泉南市の方向性の考え方
  - ② 泉南市が大事にしていること
2. 泉南市独自の事業体系と統合
  - ① 今後の泉南市が目指す具体案



# 1. 泉南市が目指す方向性の明確化

- ① 泉南市の方向性の考え方
- ② 泉南市が大事にしていること

# ① 泉南市が目指す方向性の考え方

↳ 地域福祉力の再生（創生）

★ 認知症ケアをきっかけに

『安心して、ひとり歩きできる』

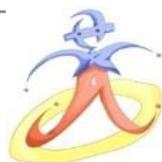
**泉南市に！！**

- 忘れてもだいじょうぶ あんしんと  
おもいやりの町 せんなん（WAO：輪を）
- そして 最終目的は・・・

**地域共生社会の構築**

# 大阪府内の認知症サポーター数における総人口に占める割合

(令和4年12月31日現在)



メイト+サポーター数: 19,122人 : 人口60,318人  
人口比: 31.7%

※このグラフ自体は、令和元年7月時点のもの



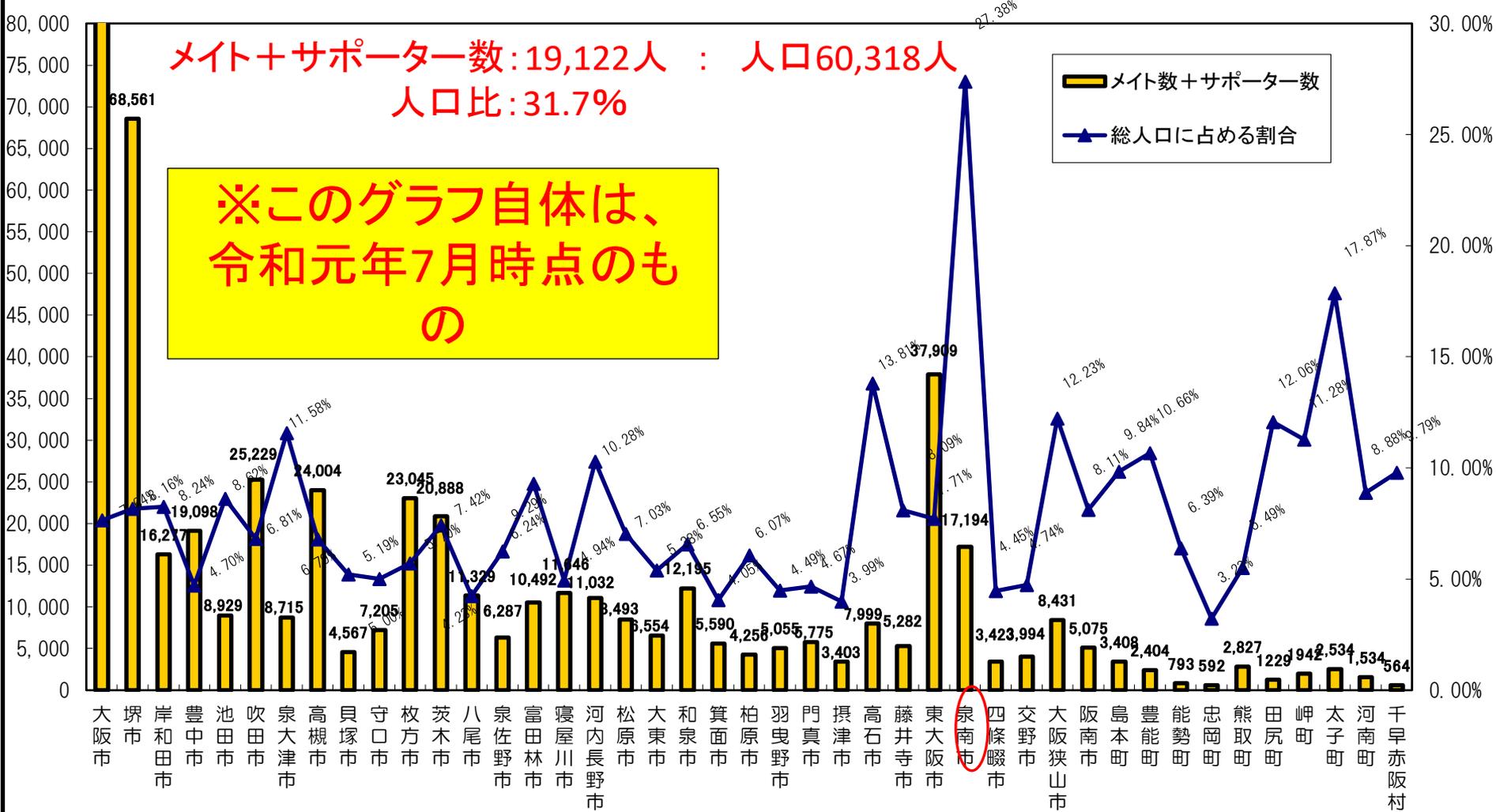
キャラバンメイト・認知症サポーター数と総人口に占める割合

並び替え

人

メイト+サポーター数:19,122人 : 人口60,318人  
人口比:31.7%

※このグラフ自体は、  
令和元年7月時点のもの

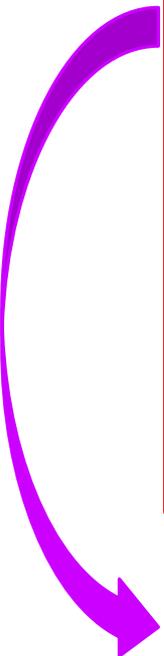


★平成22年度～

★令和 2年度～

- 認知症ケア推進事業
- 地域包括ケア推進事業
- 地域共生社会実現推進事業

- 2040年の超々高齢社会到来まで、あと18年しかない
- 今、手を付けないと大変なことになる
- 地域支援体制を構築するには、10年以上はかかる
- 全ては、行政の責任となり、市民からお叱りを受ける



# 認知症ケア ⇒ 地域包括ケア ⇒ 地域共生社会



## 平成24～25年度

- ・ライフサポートコーディネーター養成
- ・市民後見人養成開始
- ・多職種研修会開催
- ・SOS FAX送信サービス 開始
- ・福まちサポートリーダー養成
- ・認知症個別相談支援
- ・先進地の視察研修
- ・就労、生きがい支援

## 平成28年度

- ・認知症初期集中支援チーム
- ・協議体(2層)

## 平成23年度

- ・WAO新聞の発行
- ・認知症と家族の集い
- ・出張相談会開催
- ・SOS声かけ模擬訓練
- ・認知症ケア研究会の設立
- ・サロン・カフェ開設

24・25

26・27

28

29～

## 平成26～27年度

- ・地域福祉対応力向上研修
- ・地域交流スペース設置  
(地域密着型サービス)
- ・SOS メール配信サービス
- ・WAOネット会議(多職種連携会議)
- ・生活支援コーディネーター養成
- ・協議体(1層)

## 平成29～令和元年度

- ・個別ケア会議
- ・協議体(3層)
- ・地域福祉計画  
【追加版】

## 令和2年～

- ・地域共生社会推進連携チーム  
(行政)
- ・総合相談センター  
「せんなんまるサポ」(各地域)
- ・泉南市福まちサポートリーダー  
養成(各地域:5～10名)

22

## 平成22年度

- ・認知症サポーター養成講座
- ・認知症ネットワーク会議
- ・WAOまつり(市民フォーラム)

23

## 平成18～21年度

- ・見守りネットワーク会議
- ・SOS要綱作成～事業所協力依頼
- ・医師とケアマネ交流会

# 事業を継続していくためには… 何が重要か？



- ①行政が出すぎないこと
- ②地域包括支援センターや事業者、地域が主体性を持つようになること
- ③全員が「**達成感・勝利感**」を持つ活動を！
- ③行政は、**個人で動くのではなく「チーム」で動く**
- ④いろんな所へ出かけ、人脈を広げる
- ⑤行政が「頑張っている」後姿を専門職や地域住民に見てもらう
- ⑦とにかく！**顔の見える関係をつくること！！**
- ⑥楽しいところに笑顔が広がる！笑顔のところに人が集まる！
- ⑧「**踏まえても 踏まれても なお 咲くタンポポの笑顔かな**」

## ② 泉南市が大事にしていること

ポイント：自助・互助・共助・公助



意識を変革  
するには・・・

「ご近所」を追加

主眼・・・人

認知症の・・・人  
家族の・・・人  
地域の・・・人  
専門職の・・・人  
行政の・・・人

人財育成に始まり、  
人財育成に終わる

人づくり → 地域づくり

エンパワーメント ⇒ リーダーシップの発揮  
そして、重要なのは、エンパワーメントの連鎖

# 泉南市独自の地域包括ケア 人づくり（人財育成事業） ⇒ 地域づくり

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
泉南市認知症ケア研究会	失敗			NPO 法人化								
おいでや！泉南 (認知症カフェ)												
認知症コーディネーター 現：ライフサポート コーディネーター	失敗		10人	10人	13人	10人	10人	9人		11人		
地域支え合い推進員												
福まちサポートリーダー			失敗	成功	新たに基準を設け再構築							

【ライフサポートコーディネーター養成研修】 ⇒ 泉南市認知症ケア研究会が企画運営 講師も務める

**研修修了生で構成：認知症介護指導者、認知症地域支援推進員を排出**

年間約96時間の研修を受講。現在第7期生。  
所属事業所内や地域で認知症理解や地域でのつながり、様々な地域活動を行っている。

## 2. 泉南市独自の事業体系と統合

### ① 泉南市が目指す具体案

# 目標地点の変更：2025年 → 2040年

2025年問題  
(3年後)

- 団塊の世代が75歳到達
- 高齢化：31%

2040年問題  
(18年後)

- 団塊の世代が90歳前後
- 団塊ジュニアが65歳到達
- 高齢化：38.3%
- 人口構造の大きな変化
- 担い手（生産年齢人口：15歳～64歳）の減少
- 人的、財政的な制約

第3次泉南市地域福祉計画  
及び  
地域福祉活動計画

【追加版】

～地域共生社会を目指して2040年泉南市の挑戦～

令和2年3月  
泉南市



# ～ 2040年泉南市の挑戦 ～

## 地域共生社会実現のイメージ図

(併用：在宅医療・介護多職種連携事業イメージ図)

在宅医療・介護多職種連携事業イメージ図



在宅医療・介護多職種連携事業イメージ図



- ① 訪問看護師がお宅を訪問
- ② 子どもが道に迷ったおじいさんに声掛け
- ③ お買いものサポート
- ④ 歯科受診サポート
- ⑤ 医師と看護師が住民と気軽に話している
- ⑥ 屋外で介護予防体操
- ⑦ 管理栄養士が栄養講座をしてくれている
- ⑧ 地域共生、世代間交流(ボランティアで花壇に苗植え)
- ⑨ 施設入所者のお散歩

ポイント ⇒ 地域共生社会の実現

キーワード ⇒ 予防（備え）

「認知症にならないこと」を目指すのではなく  
(地域でつながり元気に暮らす)



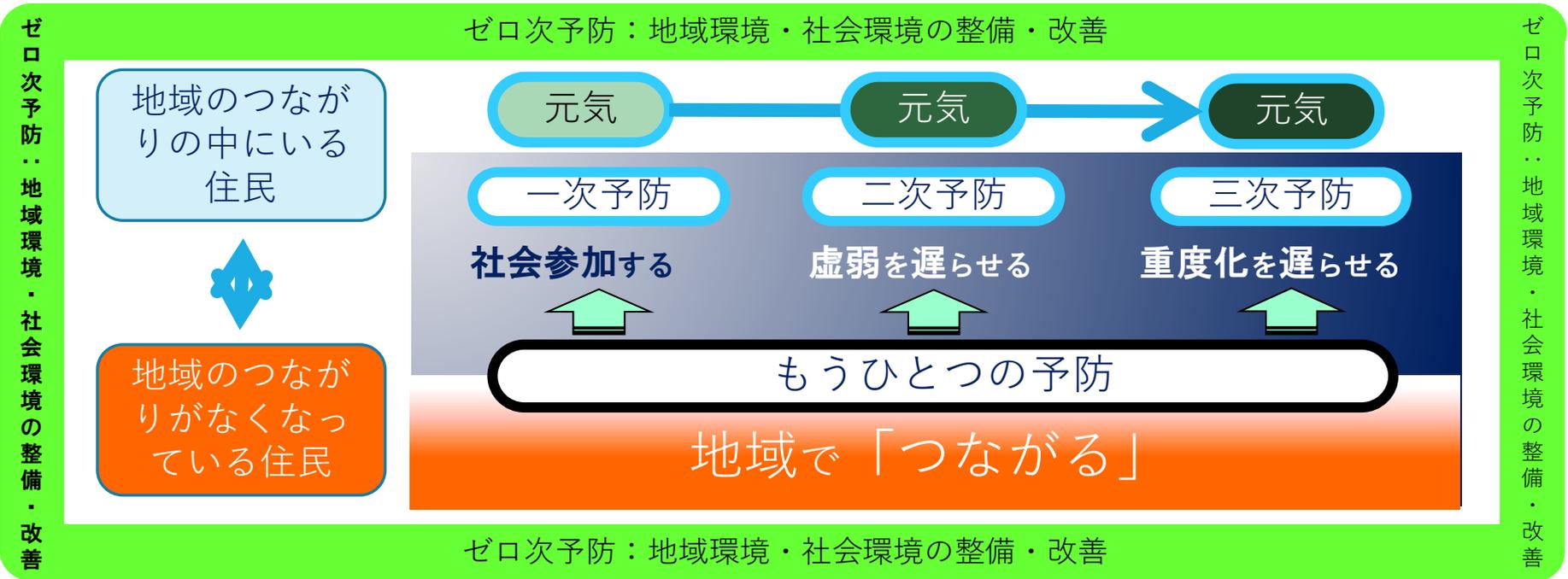
# 地域共生社会実現のキーワード

## 「予防」を推進するためには・・・

### 元気な地域（社会参加しやすい地域）高齢者も元気！！

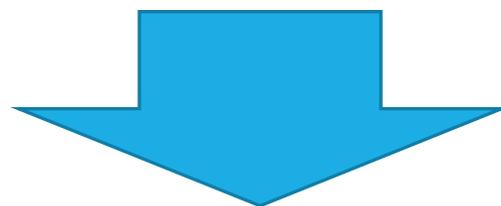
#### ☆社会参加と介護予防効果の関係

スポーツ関係・ボランティア・趣味関係のグループ等への社会参加の割合が高い地域ほど、転倒や認知症やうつリスクが低い傾向がみられる。  
(千葉大学 予防医学センター 近藤勝則教授)



- 「支え手」と「受け手」とを分離して固定化することなく行政・医療・介護専門職などを含む地域住民相互間で支え合う地域コミュニティを再生することが必要。
- 地域で生活していくうえで、それぞれ異なる地域生活上の課題や問題を抱えた人々が、それでも一つの地域の中で排除される（社会的排除）ことなく多様な人々を包み込んでいく地域社会（社会的包摂）を構築していくことが求められている。

（資料：厚生労働省）



## 小さな拠点機能整備事業

（地方創生交付金1/2、基金1/2）



# 小さな拠点機能整備事業は、

**「新しいカタチ千のお互いさま」  
“助けられたい、助けたい”**

具体的には、主に、次の2点からなります。

- ① 泉南市福まちサポートリーダーの養成
- ② 総合相談センター「せんなんまるサポ」の設置

# 「地域&専門職&行政」の協働

## ○ 地域と協働するために

- ①自治会役員に相談、事業の説明
- ②住民説明会（地域の都合に合わせ、平日にこだわらず土日や夜間：複数回又は、DVD録画やYouTube配信）
- ③福まちサポートリーダーになっていただくために、地域の役員や地域担当の専門職と一緒にお願いに訪問：足でかせぐ
- ④自治会の総会等で、「決議」を取ってもらう  
※必要であれば、総会等にも出向く
- ⑤福まちサポートリーダーのモチベーションが下がらないように地域と「伴走型」でしっかりとサポート
- ⑥地域に絶対に、「丸投げ」はしない
- ⑦地域住民に信用してもらうため、行政は「覚悟」をもって事業を推進することを言い切る

# 新しいカタチのお互いさま」

- 地方創生交付金事業（国：1/2、市の基金1/2）  
3カ年モデル事業（令和2年度～令和4年度）  
（ソフト事業 ありきの ハード事業（集会所の改修））

## ①泉南市福まちサポートリーダーの養成

- ・ 令和2年度 → 新家サングリーン自治会：366世帯  
うち、13名  
新家いずみ台自治会：193世帯  
うち、6名
- ・ 令和3年度 → 新家いずみ台自治会：193世帯  
うち、4名 計10名  
ディアパーク中小路ココロの森自治会：約107世帯  
うち、4名
- ・ 令和4年度 → ルナりんくう自治会：約337世帯（予定）

高齢化率  
50%超え

高齢化率  
3%

???

## ②総合相談センター「せんなんまるサポ」の設置

- ・ 令和2年度 → 新家サングリーン自治会
- ・ 令和3年度 → 新家いずみ台自治会  
ディアパーク中小路ココロの森自治会（予定）
- ・ 令和4年度 → ルナりんくう自治会（予定）

# ①泉南市福まちサポートリーダーの養成

- ・地域の中で見聞きした問題や自分が気付いた「ちょっとした困りごと」をチームで話し合い、必要に応じて専門職や行政につなぐ“課題のキャッチ役&つなぎ役”となる人財の養成
- ・8月下旬から、全12講座予定



# 泉南市福まちサポートリーダーの養成カリキュラム

【令和2年度】

【令和3年度】

- ① 若年層の自治会
- ② 中年層の自治会
- ② 高齢層の自治会

地域の実情に合わせてカリキュラムを構成

日時・場所	内容
8月26日(水) 13:30~15:30 あいびあ泉南 1F 大会議室	★開講式★ 福まちサポートリーダーの地域での立場と行政との関係。 ～これからの地域での助け合い 助けられたい助けたり～。 大阪経済法科大学 21世紀社会総合研究センター客員教授 金谷 一郎氏。
9月23日(水) 13:30~15:30 あいびあ泉南 1F 大会議室	新しい時代の地域コミュニティ(地域自治・自治会活動)とは 特に共助の意義と役割。 ～福祉や防災だけでなく大丈夫ですか？ 自助・公助と共助の関係性、絆づくりとは～。 大阪経済法科大学 21世紀社会総合研究センター客員教授 金谷 一郎氏。
9月30日(水) 13:30~15:30 あいびあ泉南 1F 大会議室	認知症になってからも地域で共に生きるために。 認知症介護研究・研修東京センター 永田 久美子氏。
10月14日(水) 13:30~15:30 泉南市役所 2F 大会議室	○ 健康と医療について 松本内科胃腸科 松本 英一氏。 ○ これからの在宅医療について 泉佐野泉南医師会 地域連携室。
10月28日(水) 13:30~15:30 あいびあ泉南 1F 大会議室	社会的包摂と人権課題 ～地域共生社会の実現をめざして～。 関西国際大学教育学部教育福祉学科教授 道中 隆氏。
11月11日(水) 13:30~15:30 あいびあ泉南 1F 大会議室	身近な不安の解消は？ ～消費者被害、財産管理、権利保護等～。 さの中央合同事務所 道下 謙太郎氏。
11月25日(水) 13:30~15:45 あいびあ泉南 1F 大会議室	○ 防災と地域づくり 認知症介護研究・研修センター 矢吹 知之氏。 ○ 泉南市の状況、地域の強み コミュニティソーシャルワーカー・大阪府認知症介護指導者。
12月9日(水) 13:30~15:30 あいびあ泉南 1F 大会議室	子どもの権利についての理解 子どもの話を聞く方法を学ぶ。 泉南市 人権推進課。
12月23日(水) 13:30~15:30 あいびあ泉南 1F 大会議室	日本全体の動き ～なぜ地域包括ケア・地域共生社会なのか、互助・共助の意義～。 淑徳大学コミュニティ政策学部教授 鏡 諭氏。
1月13日(水) 13:30~15:30 あいびあ泉南 3F 研修室 1・2	多世代が地域で暮らす「新しいおひさま」を知ろう。 ～一人の「困った」は地域の「困った」～。 泉南市地域包括支援センター。
1月27日(水) 13:30~15:45 あいびあ泉南 3F 研修室 1・2	地域の良いところさがし、できることを考えてみよう！ コミュニティソーシャルワーカー・地域包括支援センター・大阪府認知症介護指導者・行政。
2月10日(水) 13:30~15:30 あいびあ泉南 3F 研修室 1・2	★修了式★ 今後について、研修の振り返り。 大阪経済法科大学 21世紀社会総合研究センター客員教授 金谷 一郎氏。 コミュニティソーシャルワーカー・地域包括支援センター・大阪府認知症介護指導者。

★受付時間：13:15～。  
★持ち物：筆記用具、飲み物（水分補給）、新型コロナウイルス感染症予防のため、マスク着用のご協力をお願いします。

日時・場所	内容
8月29日(日) 13:30~15:30 あいびあ泉南 1F 大会議室	・開講式。 福まちサポートリーダーの地域での立場と行政との関係。 大阪経済法科大学 21世紀社会総合研究センター客員教授 金谷 一郎氏。
9月19日(日) 13:30~15:30 あいびあ泉南 1F 大会議室	新しい時代の地域コミュニティと共助の意義と役割。 大阪経済法科大学 21世紀社会総合研究センター客員教授 金谷 一郎氏。
9月30日(木) 13:30~15:30 あいびあ泉南 1F 大会議室	地域共生社会とコミュニティの役割。 淑徳大学コミュニティ政策学部教授 鏡 諭氏。
10月17日(日) 13:30~15:30 あいびあ泉南 1F 大会議室	地域で子育て～子どもの豊かな育ちに大切なこと～。 和歌山信愛大学教育学部子ども教育学科准教授 森下 順子氏。
10月28日(木) 13:30~15:30 あいびあ泉南 1F 大会議室	生活困窮者の自立支援制度と貧困の連鎖について。 関西国際大学教育学部教育福祉学科教授 道中 隆氏。
11月11日(木) 13:30~15:30 あいびあ泉南 1F 大会議室	日常生活に役立つ法律知識と法的考え方。 ～消費者被害、相続、成年後見を中心に～。 さの中央合同事務所 道下 謙太郎氏。
11月22日(月) 13:30~15:30 あいびあ泉南 1F 大会議室	子どもの権利を学び、子どもの声を聴く。 ～YOU TO ME あなたはとも大切な存在だから～。 泉南市 人権推進課。
12月11日(土) 13:30~15:30 あいびあ泉南 1F 大会議室	防災と地域づくり。 東北福祉大学総合福祉学部准教授 矢吹 知之氏。
12月23日(木) 13:30~15:30 あいびあ泉南 1F 大会議室	あなたのまちを、認知症リハビリに！ ～子どもも大人も一緒に、ともに暮らしやすいまちづくりを～。 認知症介護研究・研修東京センター研究部長 永田 久美子氏。
1月13日(木) 13:30~15:30 あいびあ泉南 1F 大会議室	人生会議、知っていますか？ 泉佐野泉南医師会 地域連携室。
1月27日(木) 13:30~15:30 あいびあ泉南 1F 大会議室	○住民自治組織に求められること。 帝塚山大学名誉教授 中川 幾郎氏。 ○修了式。 大阪経済法科大学 21世紀社会総合研究センター客員教授 金谷 一郎氏。 コミュニティソーシャルワーカー・行政。
2月13日(日) 市役所本館 2階大会議室	○コミュニティソーシャルワーカー・地域包括支援センターの役割と活動について。 ○今後の活動について ☆時間を調整し、各地域に分かれて実施します。 大阪経済法科大学 21世紀社会総合研究センター客員教授 金谷 一郎氏。 コミュニティソーシャルワーカー・地域包括支援センター・行政。

★受付時間：13:15～。  
★持ち物：筆記用具、飲み物（水分補給）、新型コロナウイルス感染症予防のため、マスク着用のご協力をお願いします。

# 泉南市福まちサポートリーダーの養成研修 修了者

新家サングリーン

12名  
(1名欠席)



新家いずみ台

6名



第17号

## 修了証書

殿

あなたは、泉南市が実施する  
令和2年度泉南市福まち  
サポートリーダー養成研修を  
修了したことを証します。

令和3年3月24日

泉南市長 竹中 勇人

泉南市福まちサポートリーダー  
認定証

氏名 写真

上記の者は、泉南市福まちサポートリーダー  
として認定したことを証する。

泉南市長

- 1.この泉南市福まちサポートリーダー認定証は、泉南市福まちサポートリーダー配置促進事業実施要綱に基づく事業を実施するに際し、泉南市長が認めた者に対し発行する。
- 2.泉南市福まちサポートリーダーを退いた場合は直ちに返納しなければならない。
- 3.事業活動中は常に携帯し、事業活動以外での使用は固く禁じる。
- 4.活動上知り得た秘密を漏らしてはならない。泉南市福まちサポートリーダーを退いた後も同様とする。

## ②総合相談センター「せんなんまるサポ」 の設置

・泉南市福まちサポートリーダーたちが発見した「困りごと」を集約できる場所として地域の集会所の補修

(地域住民が安心安全快適に集える)



# 地域に認識してほしいこと

「地域で生活していくうえで、それぞれ異なる地域生活上の課題や問題を抱えた人々が、**それでも一つの地域の中で**排除される（社会的排除）ことなく**多様な人々を包み込んでいく地域社会（社会的包摂）**を構築していくことが求められている。」

これらが、  
認知症の障害を増幅する

今後、ますます表面化することが予想される問題

## ●世帯の複合化

➢ 本人又は世帯の課題が複合（8050、ダブルケア等）

## ●制度の狭間

➢ 制度の対象外、基準外、一時的なケース

## ●自ら相談に行く力がない

➢ 頼る人がいない、自ら相談に行くことが困難、社会的孤立・排除  
➢ 周囲が気づいていても対応が分からない、見て見ぬ振り（地域の福祉力の脆弱化）

## 対応するために

- ・「支え手」「受け手」の関係を超える
- ・地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画
- ・人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながる
- ・地域住民と行政、専門職が同じ目線で協働

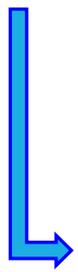
可能な限り地域で対応 ⇒ 地域福祉力UP

# 住民主体（全員参加型）で地域づくりを！

少子高齢化社会の到来が必ずくる

それを支える担い手不足は明らか。

今から10年後、20年後を見据え誰でも自分の事と受け止めて（認知症になってからも）安心して在宅で暮らせるまちづくりに向け、考える必要がある



☆ 泉南市地域支え合い活動推進条例 制定  
→ 平成27年12月

☆ 地域共生社会実現推進事業  
→ 平成30年3月：新規立ち上げ

# 「泉南市独自の地域共生社会の構築」

## なぜ？・・・ 福まちサポートリーダー？

- 泉南市福まちサポートリーダー（愛称：福まちさん）  
⇒ 「福祉のまちづくり」をサポートしていただく方！  
なぜ？ ⇒ 「リーダー」？

リーダーだけど  
「先導者」ではない

**エンパワーメント（可能性）**を繋いでいく、始めの「1人」（火種）

- 地域をくまなく巡回していただきたい（**アウトリーチ**）

課題を持ってる方を、「**キャッチ**」

課題を持ってる方は、「まるサポ」には・・・**来ない**

- キャッチした情報は、自分たちで解決できるか、**相談・検討**
- 個人情報や自分たちで解決できない情報は、専門職・行政に、**報告**
- 「キャッチ」した方の、**訪問はしない・・・トラブルの元**
- 「せんなんまるサポ」の運営をどうするか？**協議**  
（福まちさんで「**合意に基づいて**」決める！）

- **福まちさん自身のエンパワーメント（可能性）は、**  
**「必ず、誰かにつながる」ことを信じてください**
- **「火種」は、「必ず、飛び火」する**

小さな拠点が動き出すと  
地域には  
大きな安心が生まれる

地域一丸となって  
新しい「お互いさま」のカタチを創りましょう



# 令和4年1月号広報(新春対談)



## 小さな拠点の大きな安心

～互いに助け合えるまちをめざして～

- ☆市長
- ☆泉南市  
福まちサポートリーダー
- ☆泉南市地域包括支援  
センター(認知症地域支援推進員)
- ☆泉南市いきいきネット  
相談支援センター(CSW)







# 「縦割り」の限界を克服する必要性



誰にとっても、暮らしていくうえでの大きなバリア  
※特に、認知症にとっては切実な大きなバリア

## 1. 地域共生社会実現推進事業実施要綱

(令和2年6月制定：令和4年2月改正予定(重層的支援体制整備事業))

※重層的支援体制整備事業 → 令和5年度実施予定

## 2. 地域共生社会実現推進事業の実施について (令和2年6月)

市長・副市長のライン決裁及び教育長、関係部課長の  
合議を取り付ける

## 3. 【部局横断横串連携】地方創生地域共生のまちづくり推進連携チーム立ち上げ (令和2年5月)

※福祉部門にかかわらず、企画・事業・教育等様々な部局が参加

# 重層的支援体制整備事業実施に向けて



## 1. 地域共生社会実現推進事業実施要綱

(令和2年6月制定：令和4年2月改正予定（重層的支援体制整備事業）)

### 令和5年度実施予定

- 1) 泉南市版制度設計に向けて、障害・高齢・介護・子ども・保健センターで検討会を数回実施
- 2) 泉南市独自の重層的支援体制整備事業を検討し、泉南市にあった有効な地域共生社会の実現にどのように組み込んでいけるかなどの勉強会を3月末に実施する予定
  - ① 厚生労働省
  - ② 元滋賀県職員泉南市に来ていただいてアドバイスを頂戴する
- 3) さらに、庁内や専門職、関係機関と協議

## 2. 令和5年度当初予算に計上

ご清聴ありがとうございました。



想像せよ！  
そして・・・  
創造せよ！

By：大牟田市 池田氏



WAOくん

**WAO (輪を) ! SENNAN**

W ... 忘れてもだいじょうぶ  
A ... あんしんと  
O ... おもいやりの町      せんなん

